

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社

2010年6月10日

ジェイ・ユーラス・アイアール 高山与志子、 コーポレートガバナンスの国際機関の理事に選任される

～日本女性初、日本人として4人目～

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社(本社:東京都千代田)マネージング・ディレクター高山与志子は、2010年6月9日、世界最大のコーポレートガバナンスの団体であるICGN(インターナショナル・コーポレート・ガバナンス・ネットワーク)の新理事に選任されましたので、お知らせいたします。

ICGNは、1995年の設立以降、世界のコーポレートガバナンスの向上を目指し、各国の政府や企業、OECDなどの国際機関に対して、大きな影響力を与えてきました。ICGNの理事会(Board of Governors)は、ハーミーズ(英国投資家)やレイルペン(英国年金基金)、カルスターズ(米国年金基金)など、欧米の主要機関投資家や、コカコーラ社のような主要な企業の出身者などの12人の理事から構成されており、高山は日本女性として初めて、理事に選任されたものです。

ICGNには、現在45カ国から主に世界のメインストリームの機関投資家450人(社)が参加しており、そのメンバーの運用資産総額は9.5兆ドル(約900兆円)に達しています。また、2001年には、アジアではじめての年次大会が、東京証券取引所の後援のもとに東京にて開催されています。

高山与志子の理事就任による日本企業への影響について

現在、日本企業に対する資本市場からのガバナンス体制向上の要請が強まっています。従来は、「海外投資家」対「日本企業」の構図でしたが、国内でも当局によるガバナンスの強化策が次々と打ち出されています。東京証券取引所からは社外取締役、社外監査役等の独立役員設置が要請され、金融庁による内閣府令改正のもとでは、1億円以上の報酬を得ている役員報酬の個別開示、持合い株式の状況、議決権行使結果の開示が企業に求められており、本年の株主総会では、ガバナンスが主要テーマになるとみられています。このような日本の変化は世界の資本市場の注目を集めており、海外投資家の日本企業のガバナンスに対する関心がますます高まっています。

日本企業においては、機関投資家の考え方を理解したうえで、自社の立場をきちんと伝える必要が一段と増えるものと予想されます。単に日本的ガバナンスを主張するのではなく、資本市場のロジックの上で、自社の主張を再構成し、投資家を説得し自社の長期的な株主になってもらうという戦略的なアプローチが求められています。

しかし、日本企業と海外投資家の間には、まだまだコミュニケーション不足による誤解や認識のギャップが存在します。ジェイ・ユール・アイアール(株)代表取締役 岩田宜子は、今回の高山の ICGN の理事就任について、「弊社としては、誠に光栄であり喜ばしいことである」と述べるとともに、「日本企業の状況を正しく海外投資家のコミュニティに伝え、日本企業への理解を深めてもらうことが当社の重要な使命である。高山が理事になることにより、日本の現状に関する正しいメッセージを世界の投資家に伝えるとともに、資本市場における日本企業に対する見方とその背後にある投資家の考え方を日本企業に伝え、双方の間にある誤解やギャップを少しでもなくすことに貢献できると確信している。日本企業の長期的な発展にとって非常に意義があるだろう。」と、強調しています。

高山与志子の略歴

東京大学経済学部卒、エール大学経営大学院卒 MBA 取得。
東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了、博士号取得(社会情報学)。

1987 年、メリルリンチ証券会社ニューヨーク本社投資銀行部門に入社。ニューヨーク、ロンドン、東京にて、投資銀行業務に携わる。同社のバイス・プレジデントとして、日本企業の国内外での資金調達、格付け取得、M&A などに関するアドバイスをを行う。

1997 年、トムソン・ファイナンシャル・インベスター・リレーションズに入社。国内外の企業に対する IR 活動のコンサルティングを行う。ナスダック・インターナショナルより依頼され米国企業の日本での IR 活動を支援した際、ナスダックより「世界で一番クオリティの高い IR コンサルティングチーム」と評価される。

2001 年 6 月、日系初のグローバル・IR コンサルティング会社、ジェイ・ユール・アイアール(株)にマネージング・ディレクターとして入社。IR 活動のコンサルティング(国内外株主判明と機関投資家の意識調査・分析、企業合併・株主提案・買収防衛策導入等に関わる株主総会支援、TOB関連支援等を含む)を行う。現在に至る。

日本コーポレート・ガバナンス・フォーラム運営委員。全米IR協会会員。

主な著書:『社外取締役のすべて ― 役割は何か/担い手は誰か』(共著、東洋経済新報社、2004 年)『株主が目覚める日 ― コーポレートガバナンスが日本を変える』(共著、商事法務、2004 年)『機関投資家対応 IR・株主総会マニュアル』(共著、中央経済社、2007 年)

コーポレートガバナンス分野における実績

高山は、1997年以来、企業、投資家、研究者から構成される日本を代表するガバナンスの団体である日本コーポレート・ガバナンス・フォーラムの運営委員の任にあり、企業の長期的で健全な成長を目的とするガバナンスの向上に努めてきました。また、ジェイ・ユーラス・アイアールにおいては、顧客のガバナンス体制に関する様々なコンサルティングに従事し、顧客企業の企業価値の向上に貢献に務めてまいりました。

高山与志子 写真



ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社について

日本企業のニーズを満たし、しかも世界レベルの IR 活動を日本企業に提案・展開・推進する日系初のグローバル IR コンサルティング会社。東京のほか、ロンドン、ニューヨークに拠点を置く。日本企業への提案力に関しては高い実績があり、IR に関する経営陣へのコンサルティングでは、時価総額 1 兆円以上企業から新興企業までを顧客とする。 <http://www.j-eurusir.com> Email: info@j-eurusir.com

このリリースに関するお問い合わせは、下記にお願いいたします

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社

Tel. 03-3512-0907 担当: 鋤柄(すきがら)・原山

または岩田(携帯:090-6021-1230)